



治水対策10年の節目、砂鉄川の過去を知る

堤防ができるまでの砂鉄川は水害常襲地帯であり、平成14年7月洪水では台風第6号の猛威により深刻な被害が発生しました。

これを受け、抜本的な治水対策を講じる「河川災害復旧等関連緊急事業」に着手し、短期間に重点的に事業の推進を図りました。

今年は事業完成から10年の節目にあたることから、地域を守る河川事業を振り返るとともに、防災意識の啓発に取り組むものです。

【実施内容】

1. 「砂鉄川を語る会 ～地域を守る河川事業を振り返る～」の開催

■日 時：平成28年10月29日(土)15:00～16:30

■会 場：一関市立川崎市民センター

■メンバー：松川 誠氏 株式会社岩販 代表取締役社長

元東山町長

千葉 莊氏 社会福祉法人寿松苑 理事

協同組合東磐テクノウット 理事

元川崎村長

青山俊樹氏 一般財団法人建設業技術者センター 理事長

元国土交通事務次官

福田昌史氏 一般社団法人 四国クリエイト協会 理事長

元国土交通省河川局治水課長

2. パネル展

■日 時：平成28年10月17日(月)～10月31日(月)

■場 所：道の駅かわさき、一関市役所、一関市役所東山支所、東山地域交流センター、一関市立川崎市民センター、国土交通省北上川学習交流館「あいぽーと」

※休館日がありますので、詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

＝アニバーサリープロジェクト＝

事業完成から一定の節目に、治水施設の生い立ちを振り返り、その役割や地域の水害リスクについて再認識していただくためのイベント等を実施する「アニバーサリープロジェクト」を推進しています。

<発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、一関市政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

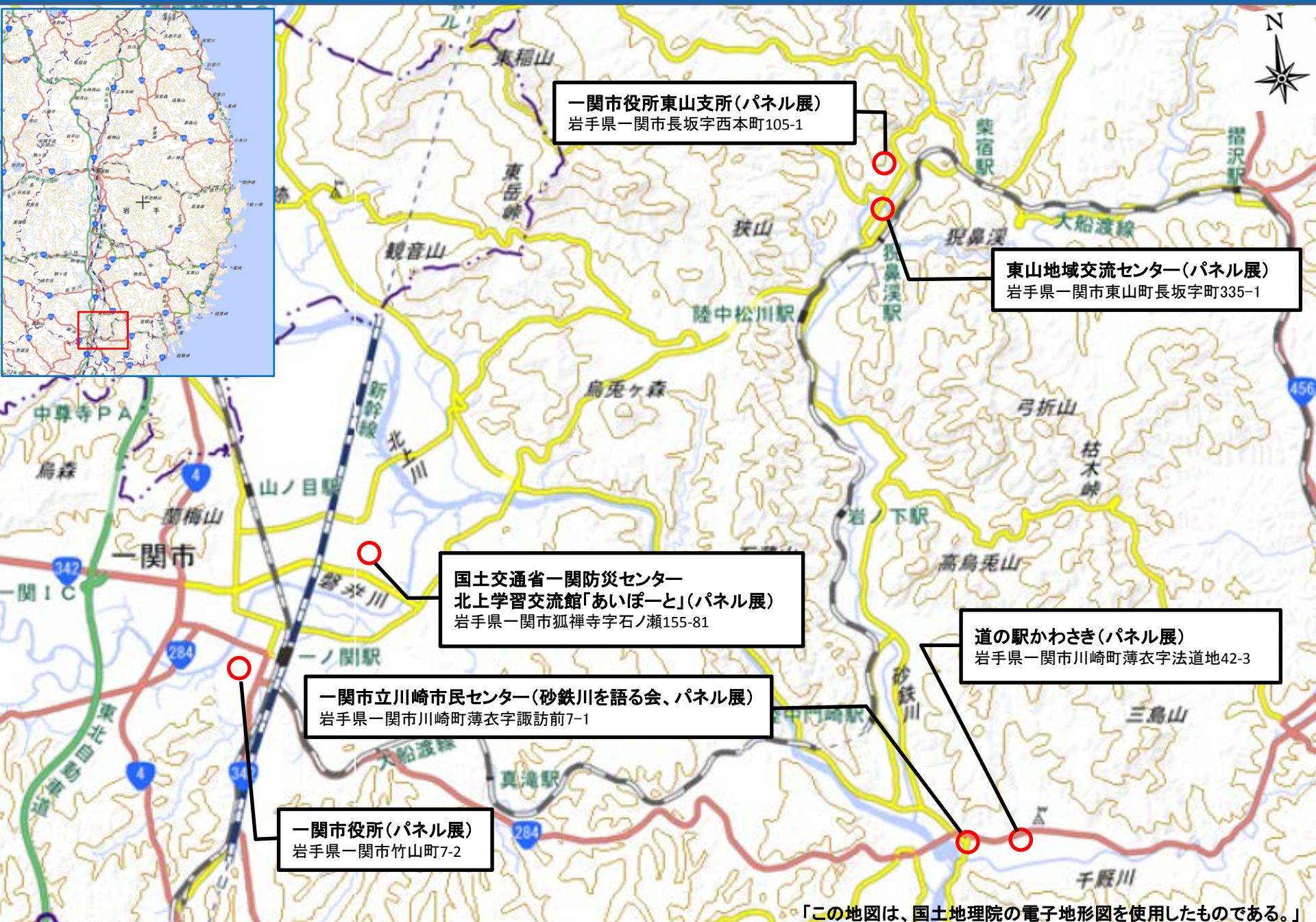
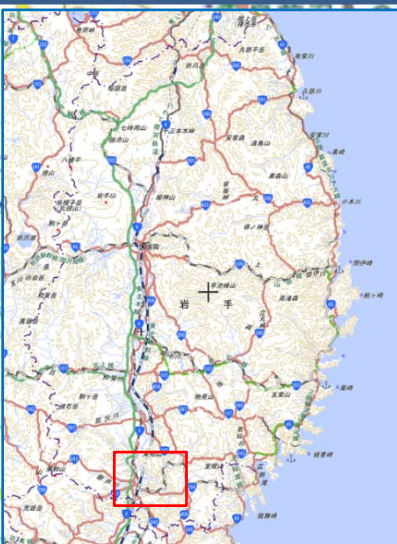
〒020-0066 盛岡市上田四丁目2-2

調査第一課長

TEL:019-624-3166 (課直通)

岩 沢 博 章

砂鉄川を語る会の会場及びパネル展の場所



「この地図は、国土地理院の電子地形図を使用したものである。」

砂鉄川を語る会



地域を守る河川事業を 振り返る

河川災害復旧等関連緊急事業完成10周年行事

日時

平成28年10月29日(土)
午後3時～午後4時30分

会場

一関市立
川崎市民センター
一関市川崎町薄衣字諏訪前7-1
TEL 0191-43-3112



平成14年7月台風第6号による大洪水



平成28年8月撮影



堤防ができるまでの砂鉄川は水害常襲地帯であり、平成14年7月洪水では台風第6号の猛威により深刻な被害が発生しました。

これを受け、抜本的な治水対策を講じる「河川災害復旧等関連緊急事業」に着手し、短期間に重点的に事業の推進を図りました。

しかし、治水施設の役割は、普段の生活の中で実感・体感することが少ないため、時間の経過とともに、地域の水害リスクに対する認知度が低下し、防災意識も薄れてしまいがちです。

このため、事業完成から10年の節目に、治水施設の生い立ちを振り返り、その役割や地域の水害リスクについて再認識していただくものです。

主催：一関市 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 後援：岩手日報社 岩手日日新聞

【パネル展開催場所】 道の駅かわさき／一関市役所／一関市役所東山支所／東山地域交流センター／一関市立川崎市民センター
国土交通省一関防災センター北上川学習交流館「あいぽーと」

砂鉄川を語る会

地域を守る河川事業を振り返る

【メンバー】



松川 誠氏

株式会社岩販 代表取締役社長
元東山町長



千葉 莊氏

社会福祉法人寿松苑 理事
協同組合東磐テクノウツ 理事
元川崎村長



青山 俊樹氏

一般財団法人
建設業技術者センター 理事長
元国土交通事務次官



福田 昌史氏

一般社団法人
四国クリエイト協会 理事長
元国土交通省河川局治水課長

【コーディネーター】

清水 晃氏 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長

お申し込みフォーム

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、この用紙をこのままFAXしてください。

ふりがな		住 所	〒
お 名 前			電話
ふりがな			
お 名 前			
ふりがな			
お 名 前			

お申し込み先
FAX 019-626-2770
国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
調査第一課「砂鉄川を語る会」係
※ご応募の個人情報は、受付のために使用します。